

建築構造材料学 Structural Materials
---------------------------------

教員名	岸本 一蔵 (きしもと いちぞう)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S 1 棟 7 階 7 3 0 室 TEL : 06-6879-7636							
E-MAIL アドレス	kisimoto@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	(2年次)							
単位	2	セメスター					3	
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築空間を創る建築構造設計・施工に不可欠であるコンクリート、鋼、ならびに木質材料などの力学性質、施工性に関する知識を、建築鉄筋コンクリート構造学、鋼構造学などと関連づけて、報道資料、サンプル等を通して視覚的・体感的に理解する。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○			○	◎			
授業計画・概要	テーマ	概要					学習・教育目標	
	序論 (1回)	建築における構造材料学の位置づけおよび力学性質の基本的な知識を身につける (包括1回)。					A D	
	鉄鋼材料 (5回)	鋼の製造方法およびその材料的特質 (包括1回)、応力-ひずみ関係などの基礎力学性質 (包括2回)、ならびに鉄鋼製品の種類と施工・利用方法についての基本的な専門知識を身につける (包括2回)。					A E	
	コンクリート材料 (5回)	セメント、骨材および混和材料の種類 (包括1回)、フレッシュコンクリートの調合と検査法 (包括1回)、硬化コンクリートの応力-ひずみ関係、耐久性などについての基本的な専門知識を身につける (包括3回)。					A E	
	木材・木質材料 (3回)	木材・木質材料の種類、応力-ひずみ関係、耐火・耐久性、接合部金具と接合部の力学性質などに関する基本的な専門知識を身につける。また、木造建築の現状 (耐震性) について理解を深める (包括3回)。					A E	
	学期末試験 (1回)							
教科書	建築構造材料学 (エース理工学シリーズ)							
参考図書・文献等	開講時に指示する							
成績評価方法・評価基準	小テストおよび学期末試験で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント	本講義は、初めて見聞きすると思われる建築構造材料学を、サンプル、ビデオ等を用いながらより身近なものと感じられるよう講義を進める。							